

残すところ 後10週間

明けましておめでとうございます。

早い！インドネシアで22週間が経ってしまった。今回は学校での活動を中心に紹介します。12月中旬は学期末で、生徒に成績を渡す日でした。通信簿は日本の高校のとはかなり違います。三年間の成績表を全部入れるホルダー方式で、先生の机の上はホルダーの山です。



成績表は、両親も一緒に受け取ります。時間を掛けて、効率など関係なく、一組一組との面接方式で渡すのが印象的でした。

成績と言えばテスト！中間（10月）と期末（12月）の2回のテストを経験しましたが、1週間ほど毎日、科目別にテストだけで授業はナシ！先生方は問題作りとテストの監督で大忙しでした。テストが終わっても、未受験者への救済テスト実施、採点、さらに成績が振るわない生徒への再テスト、そして成績表作成でヤッパリ忙しい。

一方で、多くの生徒たちは、生徒会長の選挙やLombaをしていました。Lombaとは、クラス対抗のコンテストのことで、チェスやPCゲーム、フットサル、寿司、ファッションショー、マンガ、綱引き、バレーボールの種目があります。



生徒会長の選挙



クラスミーティング（対抗戦）。
学年関係ナシ



寿司の優秀作品

では、普段の授業はどうでしょうか？

カウンター・パート（CP）の先生と2人で、チーム・ティーチング。CPがインドネシア語で説明をして、私が発音モデルになります。特に生徒との遣り取りに気を使います。日本語の授業が嫌いになっては困るので、「楽しみながら学ぶ」をモットーに、しかし「緊張感を失わないように」、順番を変えて突然指名して質問したりしています。

特別に時間を頂いたり、普段の授業時間の中で先生に急に頼まれて日本の「文化紹介」をすることもあります。クラスではなく学校をあげての「文化交流の日」もありました。私は、「わたしの住む街」「折り紙」「かるた」「抹茶」「浴衣」「たこ焼き」「紋切あそび」「書道」などを紹介しました。



「文化紹介」では派遣先高校以外に様々な学校に行くことができました。SMP（中学校）では横断幕で迎えてくれて正に講演会だったり、北スマトラ大学では剣道を指導したり、ジャカルタ国立大学では書道を紹介しました。埼玉県を知っているか？と聞くと大学生は大抵知っています。アニメの影響もありますが、浦和の研修センター（独立行政法人国際交流基金 日本語国際センター）の存在が大きいようです。



訪問できた学校の多くは、それぞれに印象深く、インドネシアの多様性を肌で感じる貴重な機会となりました。



体験してみて初めて解ることが多く、まだまだ奥深く味わい深いインドネシア。残りの期間で少しでも多くの体験を積み重ねます。